

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

## 『新型コロナウイルス後遺症およびワクチン副反応者における 精神症状に関する長期的予後の検討』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

### 【対象となる方】

2022年8月5日から研究実施許可後(2024年7月9日)までの間に、「新型コロナウイルス後遺症およびワクチン副反応者における精神症状に関する長期的予後の検討」に参加された方

### 【研究期間】

研究開始日(2022年8月5日)より2027年3月31日まで

【研究代表者】 国立精神・神経医療研究センター病院 野田 隆政

【共同研究者】 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 諫田 泰成  
九州大学 西田 基宏

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 野田 隆政

### 【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

本研究は、COVID-19に罹患した患者を対象に、罹患後からの時間的経過と後遺症症状との関連、また精神症状や背景因子との関連、解析を行います。また、すでに倫理委員会で承認されているバイオバンク研究(「ナショナルセンター・バイオバンクの検体収集体制の構築」および「脳脊髄液検査を用いた統合失調症・気分障害の生物学的マーカーの開発(第三期)」)に基づき、バイオバンク研究への同意が取得できた場合は、採血および脳脊髄液を収集します。収集したデータはNCNPバイオバンク利活用推進委員会に利用申請した内容に基づき、払出された検体について解析を行います。このたび、検体解析の内容が追加<sup>\*</sup>となりましたためご報告いたします。

<sup>\*</sup>コロナ後遺症に関連する生化学的因子(サイトカイン、ケモカインなど)を明らかにし、精神症状や患者背景との関連について検討することになりました。

なお、提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで、パスワードロックをかけた電磁的記録媒体にて郵送等で提供します。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：バイオバンク研究において収集した血液、脳脊髄液

情報等：診療録（年齢、性別、診断名、問診データ、精神症状の評価（うつ症状など）

【提供する試料・情報の取得の方法】

試料：バイオバンク研究において収集

情報：カルテの診療録および本研究の一環で収集

【利用又は提供を開始する予定日】

研究実施許可日を予定しています。

【共同研究機関】

国立精神・神経医療研究センター MGC バイオリソース部・部長 服部 功太郎

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター・部長 諫田 泰成

九州大学・教授 西田 基宏

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

なし

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 精神診療部 氏名 野田 隆政

電話番号 042-341-2711

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）